

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 15 日現在

機関番号：32643

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25380327

研究課題名(和文)人間開発のためのソーシャル・ビジネスの活用：スペインとバングラデシュの比較

研究課題名(英文)Utilization of Social Business for Human Development: Comparison between Spain and Bangladesh

研究代表者

松井 範惇 (Matsui, Noriatsu)

帝京大学・経済学部・教授

研究者番号：50278438

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：1. 国際開発学会全国大会論文：松井、その他「バングラデシュ農村における太陽光発電システムの効果と影響分析」新潟大学、2015年11月29日、2. Matsui & Ikemoto, Solidarity Economy and Social Business: New Models for a New Society, Springer; Tokyo, 2015, 3. 池本幸生 & 松井範惇「連帯経済とソーシャル・ビジネス：貧困削減、富の再配分のためのケイパビリティアプローチ」明石書店、2015年4月、4. 坪井ひろみ著「進化するグラミン銀行：ソーシャル・ビジネスの躍動」秋田魁新報社、2016年3月。

研究成果の概要(英文)：1. Matsui, Kurata, Ikemoto & Tsuboi, "Effects and Impact Analysis of Solar Home System in Rural Bangladesh," JASID National Conference, Niigata University, Nov. 2015; 2. Matsui & Ikemoto (eds), Solidarity Economy and Social Business: New Models for a New Society, Springer; Tokyo, Heidelberg, New York, 2015, 3. Ikemoto and Matsui (eds) (Japanese), Solidarity Economy and Social Business: Capability approach for poverty reduction and redistribution of wealth, Akashi-shoten, Tokyo, 2015, 4. Tsuboi, Progressing Grameen Bank: Dynamically Changing Social Business, Akita Sakigake Publisher, 2016.

研究分野：開発経済学

 キーワード：ソーシャル・ビジネス グラミン銀行 バングラデシュ スペイン ケイパビリティ・アプローチ フ
 エアトレード 地域通貨 太陽光発電

1. 研究開始当初の背景

貧困削減を目的とするバングラデシュのグラミン銀行の、少額無担保融資の成功を基に、様々なソーシャル・ビジネスが展開されてきている。そこでは、市場の機能の不十分性や失敗、そして、社会的課題を解決するためのNPO、NGOにおける維持可能性を組み合わせる試みとしてのソーシャル・ビジネスの有効性が認められつつある。

この観点から、理論モデルの検討と、様々な実践における問題点の把握が重要となってきたことが、本研究の背景である。

2. 研究の目的

アマーティア・センのケイパビリティの概念に基づき、ソーシャル・ビジネスの展開と活用を、人間開発の観点から探求し、とくに、途上国のバングラデシュと先進工業国のスペインとの比較を試みる。理論モデルとしては、ソーシャル・ビジネスの様々な形態を含めてその意義を提唱できるものを検討することを目的とする。

3. 研究の方法

文献研究、研究会での検討と議論を行う。さらに、バングラデシュ及びスペインにおける聞き取り、および統計的調査に基づく、ソーシャル・ビジネスの様々な活動の効果、影響を測定し比較する。これらは統計的分析となる。

4. 研究成果

(和文) ソーシャル・ビジネスの様々な活用で、人々のケイパビリティの開発を考察する本研究では、バングラデシュとスペインとの比較を中心に、韓国や日本、フェアトレードや地域通貨も視野に入れて研究を行った。人間の本来持つ生きる力をフルに発揮する事のできる社会の構築のため、貧困削減などの社会的課題の解決に向けて、市場機構の欠点を補完し、ソーシャル・ビジネスの可能性を最大限有効に活用するための社会的仕組みに関する研究を行った。マイクロクレジット等のこれまでの実践の成果を概観し、様々な形のソーシャル・ビジネスの有効性、人々への影響、効果を検討、分析した。

研究会を持ち議論を深め、2015年9月、松井と池本はスペインへの出張調査を行った。

バングラデシュにおける、グラミン シャクティ(エネルギー関連のソーシャル・ビジネス)の販売および設置する太陽光のパネル、家庭用および店舗用において、設置した家庭及び店舗と、設置しなかった家庭および店舗では、家計支出、エネルギーコスト、売上や家庭における生活全般にわたって顕著な差が見られるかを検証するための調査を行っ

た。統計的な処理を行った後、さまざまな表や図を使いながら、一定程度の統計的に有意な差が観測された。

これらの結果を分析したものが、2015年11月に新潟大学での国際開発学会で報告されたものである。これは、さらに分析を加えて、和文の論文と統計的な深い分析を行った英文の論文を執筆中であり、別の機会に報告するべく準備中である。

「バングラデシュ農村におけるソーラーパネル導入の決定要因分析」『アジア経済』(アジア経済研究所)へ投稿予定である。ここでは、調査結果のうち、世帯および店舗のSHSの購入、使用状況、購入した(あるいは購入しない)理由、満足度などを記述統計で示す。さらに、どのような世帯、店舗がSHSを購入しているのかその特徴を計量分析で明らかにする。

もう一つは、"Assessing Multidimensional Impacts of Sustainable Energy: Evidence from Solar Home Systems in Rural Bangladesh," 2016 HDCS Conference, 8/31-9/3, Hitotsubashi University, Tokyo, で報告予定である。ここでは、SHSについて、その購入、使用の結果としてどのような影響があるのかを、所得、支出のみならず、教育、健康、セキュリティ等の多面的貧困(multidimensional poverty)の観点から明らかにする。

Springer社から出版した英文書籍は、"Solidarity Economy"と名付けられ、本研究の背景であるケイパビリティ概念から、社会的課題の解決のための新しいモデルを提示することに成功したという自負を持っている。出版社によると、同書はSpringer社の2015年出版物の中でトップ50の中に入っているという報告を受けた。世界で広く読まれ、参照されていると理解している。

最終年度、発表した成果は以下のとおりである。

1. 国際開発学会全国大会論文: 松井範惺、その他「バングラデシュ農村における家庭用ソーラーシステム(SHS)のインパクト評価」新潟大学、2015年11月29日、2. Matsui & Ikemoto, Solidarity Economy and Social Business: New Models for a New Society, Springer; Tokyo, 2015, 3. 池本幸生 & 松井範惺「連帯経済とソーシャル・ビジネス: 貧困削減、富の再配分のためのケイパビリティアプローチ」明石書店、2015年4月、4. 坪井ひろみ著「進化するグラミン銀行: ソーシャル・ビジネスの躍動」秋田魁新報社、2016年3月。

『連帯経済とソーシャル・ビジネス』の各章は、以下のものである。

第1章「連帯とソーシャル・ビジネス」

第2章「マイクロクレジット、インクルーシブ・ファイナンスと連帯」

第3章「スペインのグラミン型マイクロクレジット」

第4章「グラミン・ファミリーのソーシャル・ビジネス」

第5章「ヨーロッパの企業とグラミンのソーシャル・ビジネス」

第6章「日本の企業とグラミンのソーシャル・ビジネス」

第7章「地域通貨と地域の再活性化」

第8章「有機農業における連帯の役割」

第9章「認証コーヒーと連帯」

第10章「韓国における社会的企業の展開」

(英文)

A. Sen's idea of "Capability" was our central concept for social business. By recognizing the significance of social business from the point of view of deficiency of market mechanism and sustainability, the study investigated the possibility of utilization of various forms of social business, like certification of coffee trade, fair trade, local currency movement, our research included those forms of people's effort to make "Solidarity" among various producers and consumers in the world.

B. Our research included Korea, Japan, Bangladesh, Spain. Derived from Grameen Bank of Bangladesh, related social businesses, as solar home system by Grameen Shakti was investigated in terms of effects on villagers' life with and without those solar home systems.

C. The research results from this investigation can be seen from those publications below.

1. Tsuboi, Progressing

Bank: Dynamically Changing Social Business, Akita Sakigake Publisher, 2016.130pp

2. Matsui, Kurata, Ikemoto & Tsuboi, "Effects and Impact Analysis of Solar Home System in Rural Bangladesh," JASID National Conference, Niigata University, Igarashi Campus, 29 Nov. 2015;

3. Matsui & Ikemoto (eds), Solidarity Economy and Social Business: New Models

for a New Society, Springer; Tokyo, Heidelberg, New York, 2015, 108pp

4. Ikemoto and Matsui (eds)(Japanese), Solidarity Economy and Social Business: Capability approach for poverty reduction and redistribution of wealth, Akashi-shoten, Tokyo, 2015, 221pp

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 0件)

[学会発表](計 1件)

松井範惺「バングラデシュ農村に於ける家庭用ソーラーシステム(SHS)のインパクト評価」国際開発学会第27回全国大会、口頭報告、新潟大学五十嵐キャンパス(新潟県・新潟市)、2015年11月28-29日。

[図書](計 3件)

1. 1. 坪井ひろみ著『進化するグラミン銀行：ソーシャル・ビジネスの躍動』秋田魁新報社、2016年3月。

2. Matsui & Ikemoto, *Solidarity Economy and Social Business: New Models for a New Society*, Springer; Tokyo, 2015,

3. 池本幸生 & 松井範惺『連帯経済とソーシャル・ビジネス：貧困削減、富の再配分のためのケイパビリティアプローチ』明石書店、2015年4月、

[産業財産権]

出願状況(計 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

取得状況(計 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6．研究組織

(1)研究代表者

松井 範惇 (MATSUI, Noriatsu)
帝京大学 経済学部 教授
研究者番号：50278438

(2)研究分担者

坪井 ひろみ (TSUBOI, Hiromi)
秋田大学 工学資源研究科 教授
研究者番号：10398000

池本 幸生 (IKEMOTO, Yukio)
東京大学 東洋文化研究所 教授
研究者番号：20222911

(3)研究協力者

倉田 正充 (KURATA, Masamitsu)

金 氣興 (KIM, Kifun)

ノズル イスラム チョードリー
(CHOWDHURY, Nazul Islam)